

New Education Expo 2007 in Osaka

高等教育オープンコンテンツの潮流 -オープンコースウェア (OpenCourseWare)-

福原 美三
y-fuku@dmc.keio.ac.jp
慶應義塾大学 DMC機構
日本オープンコースウェア・コンソーシアム

Copyright © 2006 Keio University

New Education Expo 2007 in Osaka

MIT OCW コース事例1

MIT OpenCourseWare - Electrical Engineering and Computer Science - User Interface Design and Implementation, Fall 2004

6.831 User Interface Design and Implementation, Fall 2004

Staff
Instructor: Prof. Robert Miller
Course Meeting Times
Lectures: Two sessions / week
1.5 hours / session
Level
Graduate
Feedback
View feedback about OCW or this course.

Highlights of this Course
This course features **exams with solutions** for multiple years. In addition, an extensive library of **video lectures** and recommended readings is provided in the **readings** section.

Course Description

Copyright © 2006 Keio University | 2

New Education Expo 2007 in Osaka

MIT OCW コース事例1

MIT OpenCourseWare - Electrical Engineering and Computer Science - User Interface Design and Implementation, Fall 2004

6.831 User Interface Design and Implementation, Fall 2004

Readings for Next Time

Lecture 1: Introduction to Usability

Prof. Rob Miller
MIT EECS

Hall of Shame or Hall of Fame?

This section contains exams with solutions for multiple years.

Copyright © 2006 Keio University | 3

New Education Expo 2007 in Osaka

MIT OCW コース事例1

MIT OpenCourseWare - Electrical Engineering and Computer Science - User Interface Design and Implementation, Fall 2004

6.831 User Interface Design and Implementation, Fall 2004

Exams

This section contains exams with solutions for multiple years.

YEARS	EXAMS	SOLUTIONS
2004	Quiz 1 (PDF)	(PDF)
2004	Quiz 2 (PDF)	(PDF)
2003	Quiz 1 (PDF)	(PDF)
2003	Quiz 2 (PDF)	(PDF)

Copyright © 2006 Keio University | 4

New Education Expo 2007 in Osaka

MIT OCW コース事例1

MIT OpenCourseWare - Electrical Engineering and Computer Science - User Interface Design and Implementation, Fall 2004

6.831 User Interface Design and Implementation, Fall 2004

Quiz

28. (3 points) Give one general technique for making a mode box more precise.

29. (3 points) Which of the following statements is **not** true about the UI toolkit described in the paper "Optimizing Hierarchy Design for Clear Semantics"?

16. (4 points) The reason to receive this message is:

17. (4 points) Suppose you choose that the toolbar views that are redacted.

END OF QUIZ

Copyright © 2006 Keio University

New Education Expo 2007 in Osaka

MIT OCW コース事例1

慶應義塾大学 KEIO OPENCOURSEWARE

6.831 ユーザーインターフェース設計と実装, 2004年秋

このセクションには、複数の年間の試験と解答が提供されています。

年	試験	解答
2004	クイズ 1 (PDF)	(PDF)
2004	クイズ 2 (PDF)	(PDF)
2003	クイズ 1 (PDF)	(PDF)
2003	クイズ 2 (PDF)	(PDF)

Copyright © 2006 Keio University

2007年度「画像工学特論」講義予定

- 4. 他人の意を反映したフォントの目録
 - ・ 書体情報における著作権の定着
 - ・ 著作権も反映した手書きフォント
- 5. アイデアコンペ (5月7日)
 - ・ テーマ: 「文字に表れる個人の「代の応用」に関する
- 6. 漢語交通博覧の認識 (5月14日)
 - ・ 専断カメラによる漢語博覧の認識
 - ・ 専断カメラによる交通博覧の認識
- 7. 専断カメラによる前方及び後方監視と運転の負の定量化 (5月21日)
 - ・ 専断カメラによる車両前方の監視、「運転の負」の評価
 - ・ 交通博覧の自動分析

オープンコースウェア (OCW)とは？

- MIT (米国、Massachusetts Institute of Technology) が2001年に開始した、「大学の正規に提供された講義情報のインターネットでの無償公開」

オープンコースウェア (OCW)とは？

- Welcome to MIT's OpenCourseWare:**
a free and open educational resource for faculty, students, and self-learners around the world. OCW supports MIT's mission to advance knowledge and education, and serve the world in the 21st century. It is true to MIT's values of excellence, innovation, and leadership.

MIT OCW:

- Is a publication of MIT course materials
- Does not require any registration
- Is not a degree-granting or certificate-granting activity
- Does not provide access to MIT faculty

MIT OCWの経緯

- きっかけは**プロフィットナブルなe-Learningプログラム**開始の可能性検討
 - 前学長Charles Vest氏が検討委員会を組織し、全学的立場で詳細に検討
 - 検討結果は「**すでに機会喪失**」との内容で、「MITのポジションを生かすには**オープンな講義情報公開**が望ましい」との答申
 - Vest前学長の実施決断
 - 背景にWilliam and Flora Hewlett Foundation, the Andrew W. Mellon Foundationの後援 (\$ 30M)
- 計画内容は
 - 2007年までにMITの保有するすべてのコースを公開する。
 - 公開する情報はシラバス、講義ノート、カレンダー……

OCWとは (まとめ)

- (大学などの) 高等教育機関が正規の講義 (単位認定の対象) として設置提供している講義の構成情報のインターネット上での無償提供
- 基本構成情報: シラバス、カレンダー、講義ノート
- 付加的情報: 課題、定期試験、プロジェクト、講義ビデオ
- 利用条件:
 - 教育目的の非営利利用に限定して使用、複製、再配布、翻訳を含む変更が可能
 - 上記利用の範囲では登録不要
 - ライセンス: Creative Commons

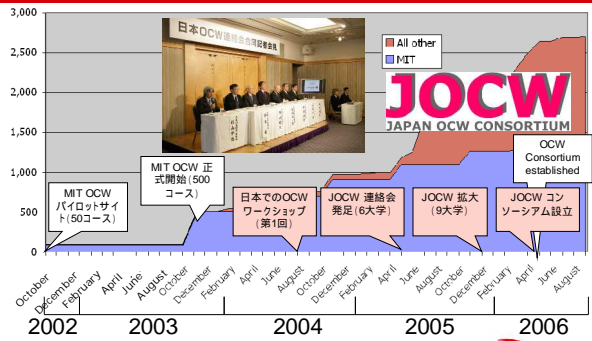
世界のOCW活動の現状

国際コンソーシアム設立

Consortium growth

49 schools live
44 in progress
14 affiliates
107 total

OCWの歴史と公開コース数



日本オープンコースウェア・コンソーシアム (JOCW)の現状

- 第1期 (2005.5-2006.4)
 - 日本でのOCW活動の立ち上げ
 - 発足時の6大学およびそれに続く3大学、1機関の参加
 - 6大学: 大阪、京都、慶應義塾、東京工業、東京、早稲田
 - 3大学: 九州、名古屋、北海道
 - 1機関: メディア教育開発センター
 - クローズドな情報交換の場: 日本OCW連絡会

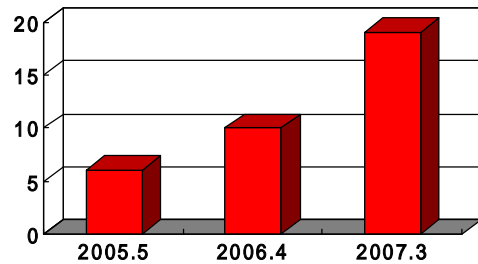


JOCWの現状

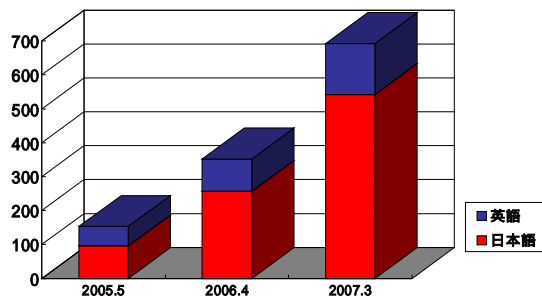
- 第2期(2006.4-)
 - OCW活動の拡大
 - オープンな団体への改組と中規模な組織へ
 - 新規加盟大学の参加 (6大学、2機関)
 - 6大学: 関西、京都精華、筑波、同志社、立命館、立命館アジア太平洋
 - 2機関: AVCC、CCC-TIES



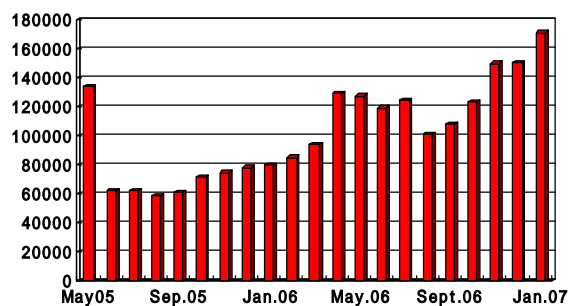
JOCW会員団体数の推移



JOCW全公開講義数の推移



JOCW全OCWサイトへの訪問者数推移



New Education Expo 2007 in Osaka

各大学のOCWサイト(九州大学・筑波大学)

The image shows two screenshots of Open CourseWare (OCW) websites. The left screenshot is for Kyushu University (九州大学) and the right is for Tsukuba University (筑波大学). Both sites feature a 'Welcome to Open CourseWare' message and a list of available courses.

New Education Expo 2007 in Osaka

質問1

各大学で行われている講義内容をインターネット上で公開することについてどのように思いますか(単位や学位には関与せず、非営利的な目的を前提とします)

1. 非常に良いと思う
2. 良いと思う
3. あまり良いと思わない
4. 良いと思わない

Copyright © 2006 Keio University | 26

New Education Expo 2007 in Osaka

質問2

講義内容を公開する大学は、どのような規模で必要と思いますか

1. 国公立の有名大学
2. 国公立のできるだけ多くの大学
3. 私立のできるだけ多くの大学
4. 国公立を問わずできるだけ多くの大学

Copyright © 2006 Keio University | 27

New Education Expo 2007 in Osaka

質問3

インターネット上で様々な大学の講義内容が見れるサイトがあった場合、あなたご自身は利用したいと思いますか

1. 非常に利用したいと思う
2. 利用したいと思う
3. あまり利用したいと思わない
4. 利用したいと思わない

Copyright © 2006 Keio University | 28

New Education Expo 2007 in Osaka

世の中の認識調査(協力NTTレゾナント)

gooリサーチによる認知度・期待度調査

調査実施期間: 2006年12月13日 - 2006年12月19日
 調査対象: gooリサーチ-消費者モニター
 調査方法: gooリサーチを利用したWebアンケート調査
 有効回答数: 1050

問1 あなたは、大学での講義についてどのようなイメージを持っていますか、当てはまるものを3つまでお選びください。

イメージ	割合
高度	28.48%
専門的	67.90%
閉鎖的	13.33%
学術的	28.67%
つまらない	17.71%
面白い	18.38%
良い	23.62%
役に立つ	11.05%
難しい、分かりにくい	29.90%
面白い	13.33%
その他	2.48%

Copyright © 2006 Keio University | 29

New Education Expo 2007 in Osaka

世の中の認識調査(協力NTTレゾナント)

問2 あなたは、社会人になってから、研修や通信教育、スクール等で自ら進んで学習機会を得たことがありますか

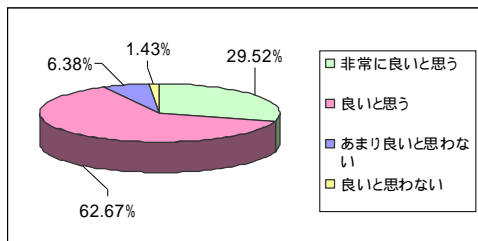
回答	割合
過去に行ったことがある	33.33%
現在行っている	6.57%
これから行いたいと思っている	16.95%
過去に行ったことはなく、これからは意向はない	23.33%
まだ社会人になっていない	19.81%

Copyright © 2006 Keio University | 30

世の中の認識調査 (協力NTTレゾナント)



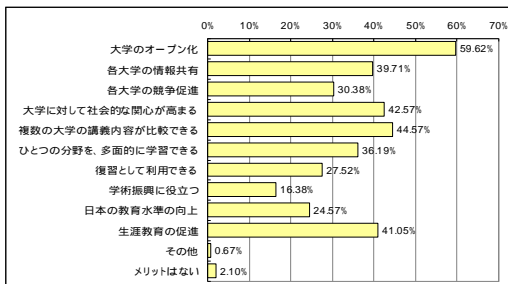
問3 各大学で行われている講義内容をインターネット上で公開することについてどのように
 思いますか(単位や学位には関与せず、非営利的な目的を前提とします)



世の中の認識調査 (協力NTTレゾナント)



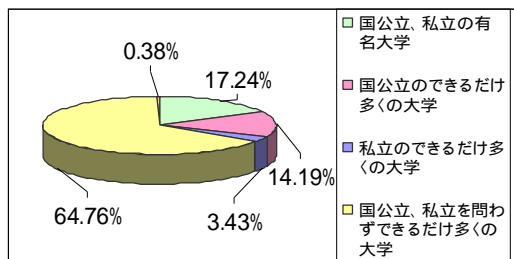
問4 各大学がそれぞれの講義内容を公開することに、どのような社会的メ
 リットがあると思いますか



世の中の認識調査 (協力NTTレゾナント)



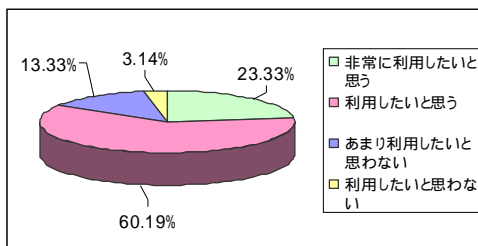
問5 講義内容を公開する大学は、どのような規模が必要だと思いますか



世の中の認識調査 (協力NTTレゾナント)



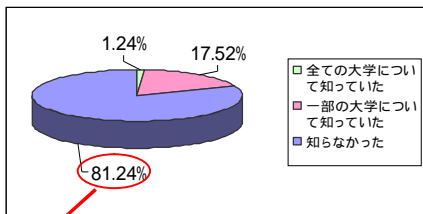
問6 インターネット上で様々な大学の講義内容が見れるサイトがあった場合、あな
 たご自身は利用したいと思いますか



世の中の認識調査 (協力NTTレゾナント)



問14以下の大学がネット上で講義を公開していることをご存知ですか

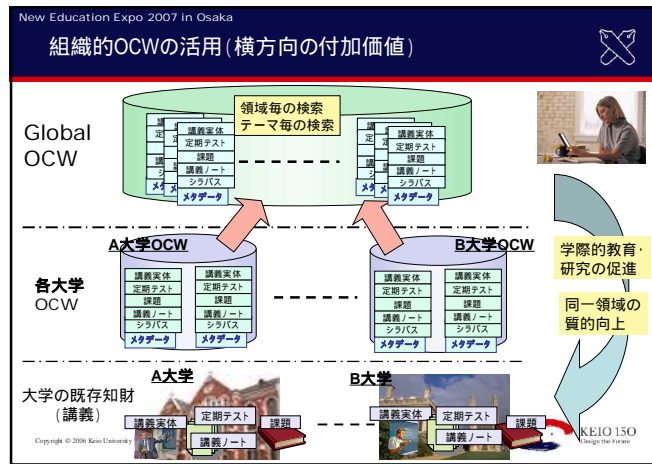
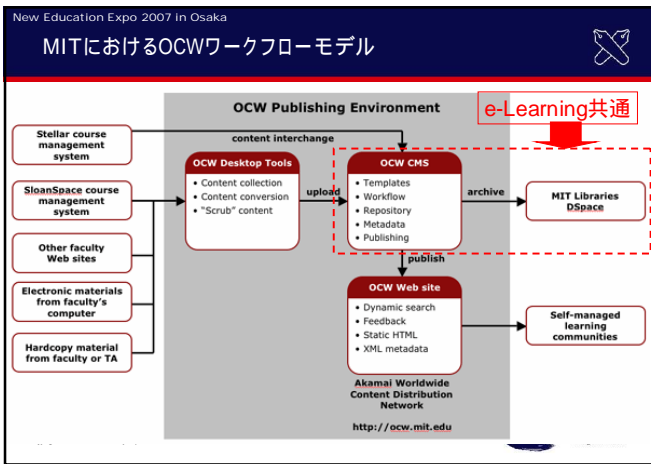
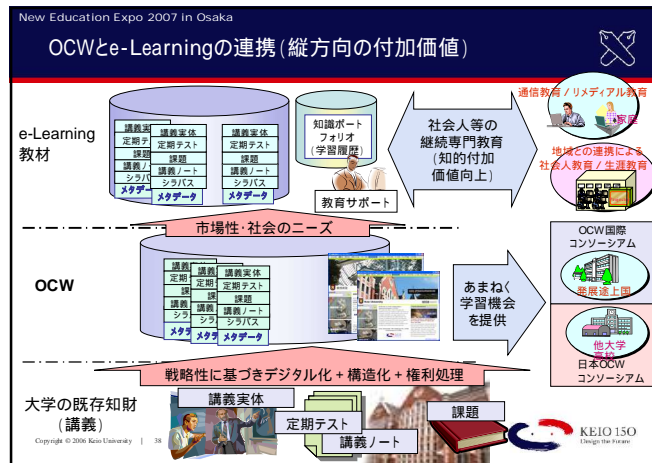
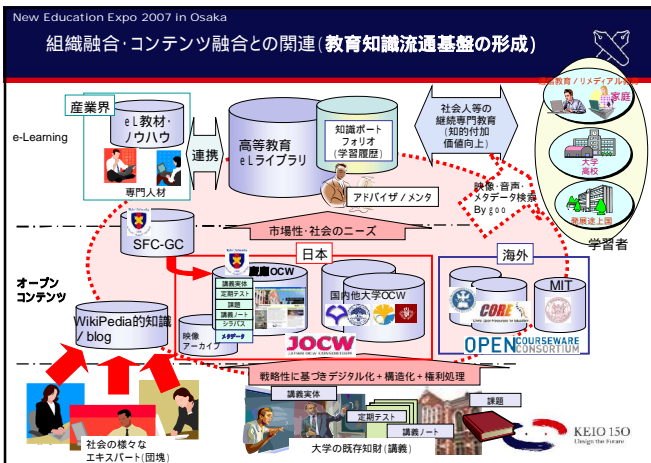


インターネットに日常的に接している人たちの中でも8割以上が全く知らない！！

OCWの意義と効果



- 提供側(大学)にとっての意義
 - 知識の世紀における大学の中長期的な社会的使命としての情報(知識)発信
 - 教育のデジタル化推進の牽引役(教員の意識改革推進)
 - 広報的価値(大学内容そのものの公開=正しい理解)
 - 講義自体の質的な改善
- 受ける側にとっての意義
 - 社会人に対する効率的・効果的な学習機会提供手段
 - 受験生・留学希望者にとって、実際の講義内容の日常的な確認手段の提供
 - 教育者にとって高価値・信頼性の高い教育素材の提供



New Education Expo 2007 in Osaka

国内OCWコース横断検索

・JOCW会員大学 (現在13->20) での講義の横断検索をコンソーシアムサイト (www.jocw.jp) で提供開始

This screenshot shows the JOCW website interface for cross-university OCW course search. It includes search filters, a list of topics, and contact information for the consortium.

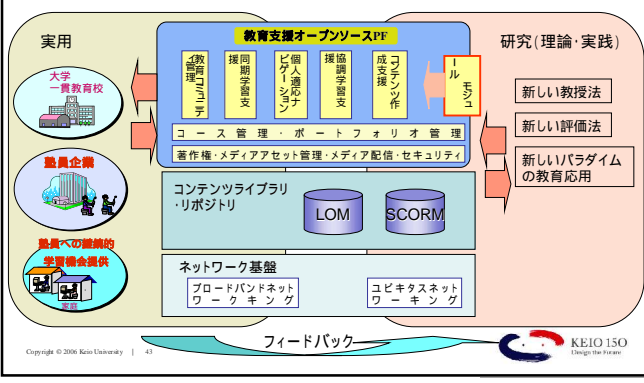
New Education Expo 2007 in Osaka

国内OCWコース横断検索

・JOCW会員大学 (現在13->20) での講義の横断検索をコンソーシアムサイト (www.jocw.jp) で提供開始

This screenshot shows the JOCW website interface for cross-university OCW course search, highlighting the use of Google search engine integration for finding relevant courses.

今後の展望



Copyright © 2006 Keio University | 43

フィードバック

